

6 環境推進市民会議委員からの意見・提案

平成 30 年度版環境白書について、環境推進市民会議委員から下記のとおり意見・提案がありました。

■ 基本目標 1 緑や水辺が身近に感じられる、自然と共生するまちを目指して

- 里山、竹林、耕作放棄地に対する市民の活動を支援する補助金制度の新設などを検討し、里山・緑地保全や希少在来動植物の保護に努められたい。
- ブランド力のある農産物の生産と後継者育成とともに、地産地消を啓発し、地域の活性化と農地の保全を図られたい。
- 猟友会への支援など、イノシシ等の有害鳥獣の捕獲・駆除の強化に努められたい。
- 生物多様性の観点から、市内における希少生物の保護や特定外来生物の拡散防止に努める取り組みを市民や学校関係者に発信されたい。
- 印旛沼や手賀沼など水域環境の保全を目的とした生物多様性戦略を策定されたい。

■ 基本目標 2 安心・安全に暮らせる、環境に負荷を与えないまちを目指して

- 下水道の整備、高度合併処理浄化槽の普及を促進し、水質改善に努められたい。
- ヤードについては定期的に巡回・訪問し、指導されたい。
- 環境変化に合わせた市独自の調査・観測地点の追加とその結果の公表に努められたい。

■ 基本目標 3 都市としての魅力があふれる、快適なまちを目指して

- 「海洋プラスチック問題」の主な原因となるごみのポイ捨てや不法投棄を防止するために警察・自治会との連携強化を図り、巡回数や監視カメラ設置箇所を増やすなど、取り締まりを強化されたい。
- ごみの分別やペットの糞放置について、市民や飼い主への注意喚起を強化されたい。
- 市内の交通インフラ格差解消のため「ふれあいバス」の拡大拡充や、電車運賃の値下げなど公共交通機関の利便性の向上に努められたい。
- ゴミゼロ運動参加団体数の増加を図るため、参加を促す仕組み作りを検討されたい。

■ 基本目標 4 低炭素社会の構築に向けた、 地球環境に負荷を与えないまちを目指して

- 印西市全体の温室効果ガス削減計画（削減目標）を作成し、市全体で低炭素化社会の実現に取り組まれたい。
- 一層のごみの分別、減量化の推進を図り循環型社会の構築に努められたい。
- プラスチック製レジ袋の使用を禁止する条例の制定を検討されたい。
- 省エネ型ライフスタイルを実現するために、エコバックや環境家計簿、地球温暖化対策に資する国民運動（COOL CHOICE）の普及啓発に努められたい。

■ 基本目標 5 環境配慮行動の実践者を拡大し、 みんなで環境を育てるまちを目指して

- 幅広い年齢層への環境講座・イベントなどをさらに促進されたい。
- 小学校・中学校の環境教育の機会を増やし、環境意識の向上に努められたい。
- シルバー世代が環境保全活動で活躍できる場や施策を積極的に推進されたい。